

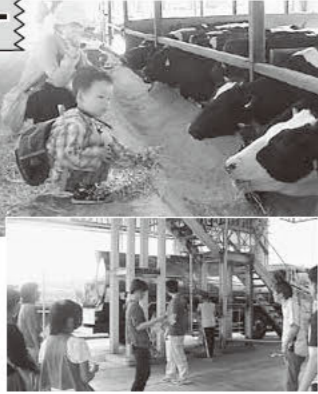
## 食べ物の大切さ感じる産直産地ツアー 報告

### 長野県 親子産地ツアー 「高原野菜ボックス収穫体験」

#### 岡山モーモーツアー

7月26日～27日  
(27名参加)

イサミ吉備高原牧場  
(産直牛肉の産地)・  
おかやま酪農業協同組合  
(生協牛乳の産地)へ行  
き、生産者と交流し、牛  
のエサやり体験などをし  
ました。



8月1日～3日  
(16名参加)

「高原野菜ボックス」のJA  
ながの・さいがわ農センター  
で箱詰めのお手伝いや、きのこ  
工場を見学。また、「コラボ  
ロースハム」の信州ハム見学や  
そばうち体験もしました。



「食育」という言葉を聞きますが、今回のツアーがまさしく「食育」だったと思います。毎日食べているものが、どのように生産され、どれだけの人の手がかけられていて、その産業の現状と将来はどうなのか…。日本の食料問題を、一消費者として考え直してみるよい機会となりました。  
(寝屋川市 木谷さん)

わたしは体験したことぜんぶ楽しかったです。やさいをはこづめたときは、いろいろなやさいを入れるんだなあと思いました。はこづめた所で食べたやさいはとてもおいしかったです。しゅうかくしたとき、ぜんぶわたしのすきなものだったので、いっぱいとりたかったです。  
(北区 美侑ちゃん 小3)



NO.59

### 被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

陸前高田市では12カ所の「災害復興公営住宅」が整備中です。大震災から3年半が経過して、初の入居(2棟、120戸)が10月に始まりました。この場所は津波浸水域ではありますが、海拔12mまで高上げされた場所で高田小学校のすぐそばです。鉄筋コンクリート造り2棟(5・7階建て)で2階部分は回廊で行き来ができ、1階部分は住居とせず医療福祉施設と商業施設に活用される予定です。

抽選で入居が決まった方は「仮設住宅で知り合った人と一緒に申し込んだ。やはりご近所付き合いが何よりです」と。一方でプライバシーの確保の裏返しとなる「外から見えない不安」や家賃発生など「家計の悩み」も出されています。

行政による環境整備をベースに、住民による自治会結成も間近で、新しいコミュニティづくりに住民、行政、NPO諸団体などの連携が求められています。

(岩手県遠野市に常駐する  
パルコープボランティア事務局・林さんより)



### ずっとボラの会(ボランティアバス参加者の有志の会)よりお知らせ

ずっとボラの会ではパルコープの店舗で「東北復興応援グッズ販売」をしています。ぜひ、お立ち寄りください。

日程	会場	いずれも時間は10時～15時
11月2日(日)	つるみ店	
12月7日(日)	枚方公園店	

パルコープの店舗一覧はこちら。  
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

2会場でグッズ販売などを行いました  
◎視覚障がい者商品フェア(京橋本部・8月30日) 売上げ58,860円 募金 2,172円  
◎東中浜店(9月7日) 売上げ85,250円 募金12,034円

### ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2014年3月21日～2014年9月20日)  
8,074,336円 (この金額には2013年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含まず)

※ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>

## パル・よどがわ・なら 組合員さんの 2014年度 第8・9回 岩手ボランティアバス報告

「何かをしなければ…私にもできることがあるのか」と不安に思いながらの参加でした。参加してみても、実際にしたことは、麦の仕分け・グラウンドの草引き・土手の整備でしたが、雑草の生えたグラウンドより芝だけのほうが絶対使いやすいし、草ボウボウの土手よりきれいな土手のほうが散歩するときの気持ちは違うと思います。そんなささやかなお手伝いができてよかったです。  
(第8回に参加  
枚方市 西井さん)



麦の選別の様子

お1人でもご家族でも参加者募集

### 第14・15回「岩手ボランティアバス」

企画回	実施日	3生協定員	申込締切
第14回目	12月23日(火・祝)～12月26日(金)	60名	11月21日(金)
第15回目	12月28日(日)～12月31日(水)	60名	

※第14回は陸前高田市で、クリスマスイベントのお手伝いなど  
※第15回は陸前高田市と大槌町で、「年越し料理」や「きりたんぼ鍋」などの「おふるまい」をいわて生協の組合員さんと一緒に(予定)



▲昨年の「おふるまい」の様子

◀いわて生協の組合員ボランティアさんと一緒に

今までに参加された方も、申し込みを付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めての方が優先です)。

【参加費】お1人12,700円(ボランティア保険含む)  
【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バス1～2台で行きます  
1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時予定) <車中泊>  
2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動、被災地視察 <宿泊泊>  
3日目 ボランティア活動 <車中泊>  
4日目 パルコープ本部前到着(9時～10時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方。  
\*各回のボランティアの内容と場所は、現地での要請に基づきます  
\*持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します  
\*宿舎は男女別・相部屋です  
\*天候不順や人数が満たない場合中止になることがあります

【申し込み・問い合わせ】パルコープ組合員活動部  
☎06-6242-0904 (月～土 9時～18時)

### 夏休み子ども企画☆☆ 7月30日、8月20日・21日開催

## パルコープ 物流センター見学ツアー

「商品の届く仕組みや、パルコープの施設を子どもたちにもっと知ってもらいたい」と昨年からはまった「物流センター見学ツアー」。夏休み中、3回の開催で、総勢62名(うち子ども38名)の方が参加されました。

「がんばるぞう」  
マイナス二十五度の冷凍にて。タオルも一晩でカチカチに!

7月30日(水) 枚方市 結衣ちゃん

「おおー!!」「すげー!!」子どもたちの声が響きます。初めて見る物流センターの光景に、みんなの視線は釘付け。商品の仕分け・袋詰めを実際に体験したり、-25℃の冷凍庫に入ったり、商品検査室を見学したり…。ツアーの内容はもりだくさんです。子どもたちは、みんな楽しそうに、一生懸命取り組んでいました。見学後は「正しい手の洗い方」の講習も。「食品が運ばれてきて口に入るまで、たくさんの人々に支えられていることに気づきました」と、子どもはもちろん、大人も楽しめるツアーになりました。



8月20日(水) 仕分けの早さに驚きました。みんなに早くできるのがすごいと思いました。自分も体験できて、すてきな体験になりました。  
中央区 高橋さん

\*次回「物流センター見学ツアー」は来年夏休み開催予定。募集ははるタイム・ホームページにて。

\*写真とお名前は同一日、同一人物ではありません